

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 10 月 7 日(2022.10.7)

【公開番号】特開 2021-45227(P2021-45227A)  
【公開日】令和 3 年 3 月 25 日(2021.3.25)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-015  
【出願番号】特願 2019-167871(P2019-167871)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 4 年 9 月 29 日(2022.9.29)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

前枠に形成される開口部を介して視認される表示手段と、  
前記表示手段の前面に設けられる複数の可動部材と、を備える遊技機であって、  
前記複数の可動部材は、前記前枠を覆うことなく所定の位置へ移動して集合可能であり

、前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第 1 特定の可動部材の発  
光態様と前記前枠の発光態様とが同一の発光態様となり、

前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第 2 特定の可動部材の発  
光態様と前記前枠の発光態様とが異なる発光態様となる、

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 8  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 0 8】

[適用例 1]

前枠に形成される開口部を介して視認される表示手段と、

前記表示手段の前面に設けられる複数の可動部材と、を備える遊技機であって、

前記複数の可動部材は、前記前枠を覆うことなく所定の位置へ移動して集合可能であり

40

、前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第 1 特定の可動部材の発  
光態様と前記前枠の発光態様とが同一の発光態様となり、

前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第 2 特定の可動部材の発  
光態様と前記前枠の発光態様とが異なる発光態様となる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 9

50

【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 4】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 0	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 5】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 1	10
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 6】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 2	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 7】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 3	20
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 8】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 4	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
	30
	40
	50